

※個々の用語・表現につき、イートモ検索で得られた対訳を1件のみ提示します。

和文原稿

その他の注意

エリスロポエチン製剤を投与した未熟児貧血患児において、因果関係は認められないものの未熟児網膜症の発症に關与することを示唆する報告がある 1)。

心不全や虚血性心疾患を合併する血液透析患者において、目標ヘモグロビン濃度を 14g/dL (ヘマトクリット値 42%) に維持した群注) では、10g/dL (ヘマトクリット値 30%) 前後に維持した群に比べて死亡率が高い傾向が示されたとの報告がある 2)。

保存期慢性腎臓病患者における腎性貧血に対する赤血球造血刺激因子製剤による治療について、目標ヘモグロビン濃度を 13.5g/dL に設定した患者注) では、11.3g/dL に設定した患者に比較して、有意に死亡及び心血管系障害の発現頻度が高いことが示されたとの報告がある 3)。

2型糖尿病で腎性貧血を合併している保存期慢性腎臓病患者において、目標ヘモグロビン濃度を 13.0g/dL に設定して赤血球造血刺激因子製剤が投与された患者注) とプラセボが投与された患者 (ヘモグロビン濃度が 9.0g/dL を下回った場合に赤血球造血刺激因子製剤を投与) を比較したところ、赤血球造血刺激因子製剤群ではプラセボ群に比較して有意に脳卒中の発現頻度が高いことが示されたとの報告がある 4)。

がん化学療法又は放射線療法による貧血患者注) に赤血球造血刺激因子製剤を投与することにより生存期間の短縮が認められたとの報告がある 5)6)。

放射線療法による貧血患者注) に赤血球造血刺激因子製剤を投与することにより、腫瘍進展又は局所再発のリスクが増加したとの報告がある 6)7)。

プラセボを投与されたがん化学療法による貧血患者注) に比べて赤血球造血刺激因子製剤の治療を受けた患者で血栓塞栓症の発現頻度が高いことが臨床試験にて示されたとの報告がある 8)。

がん化学療法又は放射線療法を受けていないがんに伴う貧血患者注) に赤血球造血刺激因子製剤を投与した臨床試験で、プラセボを投与した患者に比べて死亡率が高いことが示されたとの報告がある 9)。

注)これらの患者への投与は、本邦では承認外である。

その他の注意

エリスロポエチン製剤を投与した未熟児貧血患児において、因果関係は認められないものの未熟児網膜症の発症に關与することを示唆する報告がある 1)。

The primary mechanism of anemia of prematurity is a decrease in erythropoietin (EPO), a red blood cell growth	未熟児貧血の主な発症機序は赤血球増殖因子であるエリスロポエチン(EPO)の減少である。
---	---

factor.	
---------	--

The results of the clinical studies conducted up to now show no indication of a causal relationship between Drug A treatment and cystoid macular edema.	今までに行われた臨床試験の結果が示すように、薬剤 A の投与と嚢胞状黄斑浮腫の間に 因果関係は認められない 。
---	--

Molecular target drugs are drugs or other substances that block the growth and spread of cancer by interfering with specific molecules that are involved in the growth, progression, and spread of cancer.	分子標的薬とは、癌の増殖、進行、転移に 関与する 特異的分子に干渉することにより、癌の増殖及び転移を阻止する薬剤又はその他の物質である。
--	---

心不全や虚血性心疾患を**合併する**血液透析患者において、目標ヘモグロビン濃度を 14g/dL(ヘマトクリット値 42%)に**維持した**群注)では、10g/dL(ヘマトクリット値 30%)前後に維持した群に比べて死亡率が**高い傾向**が示されたとの報告がある 2)。

Large-for-gestational age infants are delivered in 10 to 30 percent of pregnancies complicated by diabetes.	在胎期間のわりに体格の大きな乳幼児が 糖尿病を合併する 妊婦の 10~30%に生まれている。
---	---

The patient underwent mechanical ventilation, with tidal volumes limited to 6 to 8 ml per kilogram of body weight and positive end-expiratory pressure (PEEP) maintained at 15 to 20 cm H ₂ O.	当患者は人工呼吸を受け、1回換気量を 6~8 ml/kg 体重に制限するとともに、終末呼気陽圧 (PEEP) を 15~20cm H ₂ O に 維持した 。
---	---

高い傾向→**高くなる傾向**

Also, no trend for an increased incidence of injection site adverse events was noted at the higher doses.	また、これらの高用量において注射部位の有害事象の発現率が 高くなる傾向 は認められなかった。
---	---

保存期慢性腎臓病患者における腎性貧血に対する赤血球造血刺激因子製剤による治療について、目標ヘモグロビン濃度を 13.5g/dL に**設定した**患者注)では、11.3g/dL に設定した患者に比較して、有意に死亡及び心血管系障害の**発現頻度が高い**ことが示されたとの報告がある 3)。

In patients with predialysis chronic kidney disease and anemia, maintaining appropriate hemoglobin levels during treatment for renal anemia is critical.	保存期 慢性腎臓病及び貧血のある患者では、腎性貧血の治療中に適切なヘモグロビン値を維持することが重要である。
--	---

Detection was via a UV detector set at 266 nm.	検出は 266nm に 設定した UV 検出器で行った。
--	-------------------------------------

発現頻度が高い→**発現頻度が高かった**

Dizziness and somnolence generally began shortly after the initiation of Drug A therapy and occurred more frequently at higher doses.	浮動性めまい及び傾眠は一般に薬剤 A の投与開始直後から発現し、高用量ほど 発現頻度が高かった 。
---	--

2型糖尿病で腎性貧血を合併している保存期慢性腎臓病患者において、目標ヘモグロビン濃度を 13.0g/dL に設定して赤血球造血刺激因子製剤が投与された患者注)とプラセボが投与された患者(ヘモグロビン濃度が 9.0g/dL を**下回った**場合に赤血球造血刺激因子製剤を投与)を比較したところ、赤血球造血刺激因子製剤群ではプラセボ群に比較して有意に脳卒中の発現頻度が高いことが示されたとの報告がある 4)。

A decreasing glomerular filtration rate was associated with an increasing frequency of microvascular and macrovascular complications in patients with type 2 diabetes.	2型糖尿病 の患者では、糸球体ろ過率が低くなるに伴い、微小血管合併症及び大血管合併症の発現頻度が高くなった。
--	---

Therapy with Drug A should be temporarily omitted if neutropenic fever occurs or if the absolute neutrophil count drops below 1000/mm ³ .	好中球減少性発熱が起こった場合あるいは好中球絶対数が 1000/mm ³ を 下回った 場合、薬剤 A の投与を一時的に中断する。
--	---

がん化学療法又は放射線療法による貧血患者注)に赤血球造血刺激因子製剤を投与することにより**生存期間の短縮**が認められたとの報告がある 5)6)。

Increased EGFR expression was linked to an advanced clinical stage and the presence of lymph node metastasis as well as decreased survival in several gastric cancer studies.	胃癌を対象としたいくつかの試験において、EGFR 発現量の増加に伴い、 生存期間の短縮 に加えて、臨床病期の進行及びリンパ節転移が認められた。
---	--

放射線療法による貧血患者注)に赤血球造血刺激因子製剤を投与することにより、**腫瘍進展**又は**局所再発**の**リスクが増加した**との報告がある 6)7)。

腫瘍進展→腫瘍進行	
In both studies, the Drug A/Drug B combination therapy resulted in significant improvements in objective tumor response rates, time to tumor progression, and survival when compared with Drug A alone.	両試験とも、薬剤 A と薬剤 B による併用投与の結果、薬剤 A の単独投与と比較して、腫瘍の客観的奏効率、 腫瘍進行 までの経過時間、生存率に有意な改善が認められた。

Both local recurrence (21% vs. 20%) and distant recurrence (12% vs. 7%) were more frequent in Drug A-treated patients compared to control.	局所再発 (21%対 20%)及び遠隔再発(12%対 7%)はいずれも薬剤 A 投与患者のほうが対照例よりも高頻度であった。
--	---

リスクが増加した→リスクが高まった	
However, blood transfusions raised the risks of iron overload and transfusion-associated viral infections.	しかし、輸血により、鉄過剰症及び輸血後ウイルス感染の リスクが高まった 。

プラセボを投与されたがん化学療法による貧血患者注)に比べて赤血球造血刺激因子製剤の治療を受けた患者で血栓塞栓症の発現頻度が高いことが臨床試験にて示されたとの報告がある 8)。

にて示された→で示された

A clinical trial showed that Drug A significantly reduced the number of colorectal polyps in children with familial adenomatous polyposis (FAP).

薬剤 A は家族性腺腫性ポリポージス(FAP)の小児における結腸直腸ポリープ数を著しく減らすことが治験で示された。

がん化学療法又は放射線療法を受けていないがんに伴う貧血患者注)に赤血球造血刺激因子製剤を投与した臨床試験で、プラセボを投与した患者に比べて死亡率が高いことが示されたとの報告がある 9)。

Adrenergic stimulation may improve the cognitive deficits associated with Alzheimer's disease.

アドレナリン刺激は、アルツハイマー病に伴う認知機能障害を改善する可能性がある。

に比べて→と比較して

A trend toward more sternal complications was seen in Drug A-treated patients compared to placebo-treated patients.

薬剤 A 投与患者では、プラセボ投与患者と比較して、胸骨の合併症が多くなる傾向がみられた。

注)これらの患者への投与は、本邦では承認外である。

承認外→未承認

Drug A is another peripherally acting μ -opioid receptor antagonist unapproved in Japan and is indicated for patients with chronic non-cancer pain.

薬剤 A は末梢性に作用するもう 1 つの μ オピオイド受容体拮抗薬で、日本では未承認であるが、適応となるのは非癌性慢性疼痛の患者である。